

防災減災学術連携委員会（第 26 期・第 3 回）

議事要旨

第 6 回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」として開催
テーマ「令和 6 年能登半島地震災害における課題と教訓」

日 時：令和 6 年 8 月 22 日（木）13:00～16:10

会 場：Zoom ミーティングを用いたオンライン会議

出席者： 竹内徹（委員長）、目黒公郎（副委員長）、永野正行（幹事）、山本佳世子（幹事）
今村文彦、臼田裕一郎、有働恵子、神原咲子、菊地優、高橋良和、寶馨、多々納
裕一、田村和夫、中村尚、久田嘉章、平田直、平田京子、森口祐一、若尾政希（19
名）

欠席者： 遠藤薫、大原美保、坪倉正治（3 名）

事務局： 齊藤美穂、佐藤有純

<その他の出席者>

日本学術会議関係：三枝信子（日本学術会議副会長）

府省庁関係：森久保司（内閣府 政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当））
大塚康裕（総務省 総合通信基盤局電気通信事業部安全・信頼性対策課長）
西澤賢太郎（国土交通省 水管理・国土保全局防災課長）
上野寛（文部科学省 研究開発局地震火山防災研究課地震調査管理官）
その他傍聴者

学協会関係：宍倉正展（日本第四紀学会）

橋本隆雄（地盤工学会）

五十田博（日本建築学会）

近藤久禎（日本災害医学会）

その他傍聴者（防災学術連携体）

全出席者 184 名

議 題：

- 1) 開会・趣旨説明
- 2) 来賓挨拶 内閣府政策統括官（防災担当）
- 3) 「令和6年能登半島地震災害における課題と教訓」府省庁の取り組み
- 4) 「令和6年能登半島地震災害における課題と教訓」学協会の取り組み
- 5) 全体意見交換
- 6) 閉会挨拶

議 事：

- 1) 開会・趣旨説明
 - ・三枝信子副会長より、開会のあいさつがあった。
 - ・竹内徹委員長より、趣旨説明があった。
- 2) 来賓挨拶 内閣府政策統括官（防災担当）
 - ・内閣府（政策統括官（防災担当））の高橋謙司氏より、本会開催に向けてのご挨拶があった。
- 3) 「令和6年能登半島地震災害における課題と教訓」府省庁の取り組み
 - ・内閣府(防災担当)、総務省、国交省、文科省講演者よりそれぞれ令和6年能登半島地震における政府対応、通信の確保、インフラ被害と復旧、地震のメカニズムの検証について紹介があった。

能登半島地震に係る政府対応の点検について

内閣府 政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当） 森久保司 氏
通信の確保

総務省 総合通信基盤局電気通信事業部安全・信頼性対策課長 大塚康裕 氏
インフラ被害と復旧

国土交通省 水管理・国土保全局防災課長 西澤賢太郎 氏
地震のメカニズム

文部科学省 研究開発局地震火山防災研究課地震調査管理官 上野寛 氏

- 4) 「令和6年能登半島地震災害における課題と教訓」学協会の取り組み
 - ・日本第四期学会、地盤工学会、日本建築学会、日本計画行政学会・地理情報システム学会、日本災害医学会よりそれぞれ地形変化、地盤の被災状況と対策、建物の被害、情報通信面での災害対応、医療・救援・避難に関する調査報告があった。

地形変化（長期的視点、海成段丘等）

日本第四紀学会 宍倉正展 氏

地盤の被災状況と対策（液状化、側方流動等）

地盤工学会 橋本隆雄 氏

年代別建物被害、倒壊建物の原因と対策—木造建物を中心として

日本建築学会 五十田博 氏

災害対応（情報通信技術等）

日本計画行政学会・地理情報システム学会 山本佳世子 氏

医療・救援・避難（過疎地の避難等における課題）

日本災害医学会 近藤久禎 氏

5) 全体意見交換

- ・防災学術連携体・米田雅子代表幹事の司会により、意見交換が行われた。
- ・今後、南海トラフ巨大地震等の発生を想定すると、同様の被害がより広域に発生することが予想され、ハザードマップの充実や居住地の選定の在り方について議論があった。
- ・災害時の行政間の被災情報連携については近年の災害を経てかなり整理されてきたとの見解があった。避難者情報のフォーマットの統一などはまだ課題が多い。
- ・被災地の行政・医療担当者の負担を軽減する施策が必要である。高齢者施設の入居者については被災後のシナリオを予め話しておくことも必要。
- ・防災の担い手として防災士や防災関連研究所の連携も検討いただきたい。

6) 閉会挨拶

- ・防災学術連携体・渦岡良介代表幹事より、本日の連絡会のまとめと今後に向けての展望を含めた、閉会挨拶があった。

以上